



*11月、霜月です。ひと月前の暑さが信じられないくらい秋は足早に過ぎてゆこうとしています。北海道以外でも雪のたより。紅葉の季節は短そうですね。本当の理由が謎解けないまま、幸いにもコロナの脅威が日ごとに縮小され、全国の緊急事態宣言も解除になりましたが、数回にわたる行動制限は人心に大きな影響を与えているようで、企業の多くは今年も忘年会なしのところが多いとか。経済復興への狼煙は上がっても、当分元の賑わいにはならない様子です。そんな中でのハロウィン。渋谷の街は例年よりも参加者は少なかったようですが、コスプレの若者が深夜まで街に溢れて、街を守る方々を悩ませたとのニュース。その結果が2週間後の感染者数に響かないことを願うばかりです。

日脚は日ごとに短くなってゆき、夜空を見上げると澄み切った空の月は本当に綺麗に輝いています。これもコロナの影響で空気の汚れが少ないからか？悪い事ばかりではありませんね。月光の下、時にはスマホのゲームをやめて、「銀河鉄道の夜」の読書などいかがでしょうか

Market Forecasts by Y. san -11月-

10月予測の自己評価 鉄スクラップ; × 銅; × アルミ; ○

鉄スクラップ

10月は指標となる東京製鉄宇都宮工場特級価格が47,000円/トンでスタートし、上昇を続け、最終的には56,000円/トンまで上昇しました。13年2ヶ月ぶりの高値です。11月は、相変わらず国内高炉メーカーが買い意欲旺盛であり、市中の品不足を考えるとまだ上がると思われます。

銅

10月はLME8,900ドル/トン台、国内銅建値1,040,000円/トンでスタート。2017年11月以来の円安もあり、一時LME10,650ドル/トン台、国内銅建値も1,340,000円/トンまで上昇しました。11月に関しては、中国の電力不足による、工場の稼働低下が見込まれますので上がるでしょう。

アルミ

10月はLME2,840ドル/トン台からスタートしましたが、最終的には2,770ドル/トン台まで下がりました。11月は中国の石炭価格の下落により月初から下がると思われます

産業廃棄物

最近、リサイクルよりユース(捨てるより活かす)する業者が増えてきました。自治体は自転車や家具など粗大ゴミとして出された品を手直し後、安価な価格で売却していましたが、民間の廃棄物処分会社も安い処理費で受け、資源物と同じ様に手を加えて売却するようになると思います。高い処分費を提示していると仕事が無くなるでしょう。

Topics

エコドライブ10のすすめ

-11月はエコドライブ推進月間です-

警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省で構成するエコドライブ普及連絡会では、11月を「エコドライブ推進月間」として、エコドライブの普及・推進を図っています。

今回は関連する省庁のホームページから引用させていただき「エコドライブ10のすすめ」について、掲載いたします。

エコドライブ推進月間について

エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)の取組については、平成18年度に策定した『エコドライブ普及・推進アクションプラン』に基づき、エコドライブ普及連絡会が普及推進を図ってきました。

エコドライブ普及連絡会では、引き続きエコドライブの普及推進を図るため、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月を「エコドライブ推進月間」とし、シンポジウムや全国各地でのイベント等の積極的な広報を行うこととしております。今年のシンポジウムや各イベントの詳細については次のURLからご参照ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211029002/20211029002-1.pdf>

『エコドライブ10のすすめ』について

エコドライブ普及連絡会では、これまで、エコドライブとして推奨すべき「エコドライブ10のすすめ」を平成15年に策定し、平成18年と平成24年及び令和2年に一部見直しを行い、広報を行ってきました。

エコドライブとは、燃料消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につながる「運転技術」や「心がけ」です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐに始めることができるアクションです。小さな意識を習慣にすることで、あなたの運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから、はじめてみましょう、エコドライブ。

『エコドライブ10のすすめ』の項目は、以下のとおりです。

1. 自分の燃費を把握しよう
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. ムダなアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物はおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

項目の詳細は次のURLからご参照ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211029002/20211029002-2.pdf>



Series

「私のふるさと」第3回



総務人事部 打田 明絵

こんにちは、総務人事部の打田です。つい最近まで夏のような暑さが続いていましたが、急に寒くなり何を着たらいいか毎日悩んでいます。今年は秋らしい気候の日が少なくて少し残念ですね。

3回目の投稿となりました。今回は、ふるさと三重県の鈴鹿市にある鈴鹿サーキットのお話をさせていただきます。

このサーキット1962年に完成した日本初の本格的な国際サーキットで、全長5,807mの日本最長コースです。毎年10月にF1日本グランプリが開催されますが、F1だけではなく、SUPER GTや8時間耐久ロードレースなどが行われています。自宅から自転車で行ける距離にあり、幼いころはサーキット内にある遊園地によく遊びに行っていたため、楽しかった遊園地の印象が強く、国際的なレースをやっている有名な場所だったと知ったのはだいぶ大きくなってからでした。

モータースポーツが好きな父の影響もあり、昔からF1の中継はよく見ていました。群馬に引っ越してから父と兄は毎年F1を見るために三重に帰省していましたが、あまり興味のなかった私は、母と群馬で留守番して、同じ時期に行われる地元のお祭りに遊びに行くのを楽しみに過ごしていました。

ちょうど、佐藤琢磨選手がホンダで活躍していた頃のことです。日本勢の活躍もあり盛り上がる中、なんとなく好きな選手を見つけ、せっかくだから現地で見たい！と思い、一度だけ連れて行ってもらうことができました。

私たちは自転車でサーキットまで向かいましたが、途中、普段は人通りの少ない田舎道に他県ナンバーの車が行列を作っていて驚いたことを覚えています。その日のレースでは、下位スタートだった好きな選手が怒涛の追い上げを見せ、最後の1周で逆転優勝！という私的に大満足の結果だったので、とても楽しかった思い出として心に残っています。それからは進学や部活動で忙しくなったこともあり、熱心に中継を見ることが少なくなってしまう、サーキットには一度も観に行く機会がないうままでした。

今年はホンダエンジンのF1撤退、そして応援していた選手も今年限りで引退ということもあり、久しぶりに観に行きたいねと家族で話していたのですが、去年に引き続き新型コロナウイルスの影響で日本グランプリの開催が中止となってしまいました。この投稿でもそのF1観戦の状況をお話してきたら、なんて思っていたのでとても残念ですが、来年にはコロナが落ち着き、無事に開催されればいいなと思います。また再来月に。

